



# 今年「たつ年」兵庫の3つの龍を紹介

## 佐用町 山奥の神秘的な飛龍

佐用町は2005年に佐用町・上月町・南光町・三日月町の4町が合併し、現在の佐用町が誕生した。その上月地区の榎田にある「飛龍の滝」を訪ねた。案内には佐用町商工観光課の木南智さんに協力していただき、滝の云われや佐用町の観光について伺った。



案内人の木南さん



飛龍の滝

飛龍の滝は、NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」のタイトルバックにもなった観光スポット。滝までたどり着くのに険しい山道やたくさんの階段があることが多いが、飛龍の滝へのアクセスは非常に良く、無料の観光用駐車場から徒歩で数分もかからず訪れることができる。なお、最寄り駅の久崎駅から滝までの公共交通機関は無いので注意を。滝に着くと、周りは木々

に囲まれ、非常に気持ちがいい空気を感ずることができ、特に夏場は涼しいこともあり賑わうそう。20mの高さから落ちる水の音と水しぶきは壮観。滝の中央部あたりの岩が突き出し、水の流れに変化が付き、この様子が飛龍の姿に似ていることから滝の名前がつけられたと伝えられている。滝に近づいてみると、滝のしぶきを受ける竜神の石像が祭られていた。滝周辺は真夏でもひんやりと涼しく、冬場になると水が凍り、氷



めずらしい氷瀑の様子

撮影の際には、いつもより

瀑(凍った滝)が見られることもあるが、冬場にいつでも水瀑を見ることができ、条件が揃えばマイナス10℃が10日程度続かなければ水瀑とはならず、この滝では珍しい現象。また、この滝の上には溜め池があり、もともとは農業用としてこの滝の水が利用されていたそう。溜め池の中には水の量をコン

### 魅力的な スポット

佐用町には多くの観光スポットがある。佐用川沿いに400年前の街並みを残す宿場町「平福」や戦国時代の山城である「利神城跡」、夏には数十万本ものひまわりが咲き誇る関西最大規模の「ひまわり畑」、グルメでは有名な「佐用ホルモン焼きうどん」や、ひまわりの種を食べて育った「ひまわり地鶏」など多くの見どころと美味しいものがそろっている佐用町。飛龍の滝を訪れる際には是非とも他のスポットにも訪れてみては。観光スポットや飲食店などの情報やコースプランニング機能もある「佐用町観光ナビ」が便利。QRコードからどうぞ。お問い合わせは佐用町商工観光課(Tel079018210670)まで。

### 佐用町観光ナビ



## 相生市 ペーロン(白龍)で 団結を深める



ペーロンへの思いを語る池内副委員長

長崎県出身の造船所従業員によって伝えられ当時は「相生港まつり」として開催し、前夜祭には花火大会も行われるようになり、現在の「相生ペーロン祭」の基礎となった。ドラと太鼓の音に合わせて力漕ぎする姿は、まさに龍が水面を駆け回るように壮観で、盛大に行われている。

相生市では古くから海の伝統文化としてペーロン競漕が盛大に行われている。ペーロンは「白龍」の中国音の「パイロン」がなまったものと言われているが、そのペーロンが日本へ伝来したのは1655年。当時、数隻の中国船が長崎港を訪れた際、強風のため出航できなくなったため、海神を慰めて風波を鎮めるためにこの「ペーロン競漕」を港内で行った。これを長崎の人達が入り入れてペーロン競漕を行うようになり、長崎では年間行事の一つとなつて今日まで続いている。相生市には1922年に



相生かきまつりでBBQ

相生市役所チームは毎年、3大まつりが行われている。先程紹介した「相生ペーロン祭」11月には「もみじまつり」、2月には「相生かきまつり」が開催されている。秋の期間は、共に厳しい練習をし、本番では力を出し尽くす。この取り組みにより、お互いの仲間意識が生まれ、出先職員も皆の顔を知ることができ、組合の基礎である「団結」につながる部分がある」と語った。



ペーロン競漕で力強く進む市役所チーム

### 相生3大まつり

相生市では毎年、3大まつりが行われている。先程紹介した「相生ペーロン祭」11月には「もみじまつり」、2月には「相生かきまつり」が開催されている。秋の期間は、共に厳しい練習をし、本番では力を出し尽くす。この取り組みにより、お互いの仲間意識が生まれ、出先職員も皆の顔を知ることができ、組合の基礎である「団結」につながる部分がある」と語った。



